

「資産形成」に関する『エン派遣』ユーザー調査

資産形成の必要性、8割超が実感。一方、実践者は3割にとどまる。
9割がNISA・iDeCoを認知するも、約半数が「内容はわからない」。

－『エン派遣』ユーザーアンケート－

エン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役会長兼社長：越智通勝）が運営する日本最大級の派遣情報サイト『エン派遣』（<https://haken.en-japan.com/>）上で「資産形成（※）」についてアンケート調査を行い、1,496名から回答を得ました。以下、概要をご報告します。

※本調査では、資産形成を「NISA、iDeCo、株式投資、投資信託、債券投資、保険など」と説明し、調査を実施しました。

結果 概要

- ★ 資産形成の必要性、8割超が実感。一方、実践者は3割にとどまる。
資産形成の目的は「老後資金のため」。年代に比例して割合も高まる結果に。
- ★ 資産形成に踏み出せない理由は、資金不足に次いで知識不足が課題に。
NISA・iDeCoの認知度は8割を超えるが、約半数が「内容はわからない」と回答。
- ★ 資産形成に関して、職場や派遣会社に期待するサポートは
「資産形成に役立つ福利厚生への導入・紹介」「セミナーや研修の提供」。

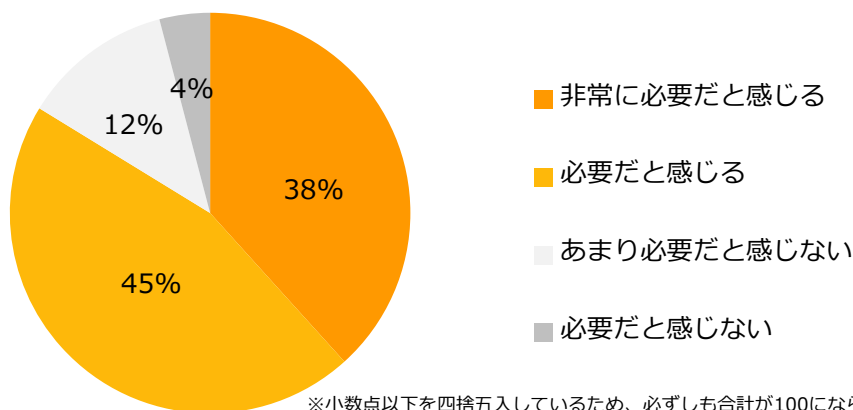
■調査結果 詳細

1：資産形成の必要性、8割超が実感。一方、実践者は3割にとどまる。 資産形成の目的は「老後資金のため」。年代に比例して割合も高まる結果に。（図1～3）

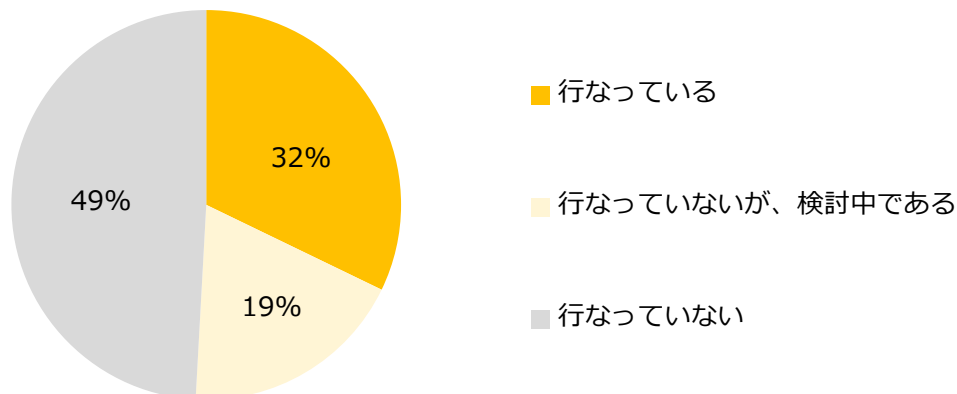
派遣のお仕事を探している方に、貯金以外での資産形成の必要性を伺いました。「非常に必要だと感じる」が38%、「必要だと感じる」が45%と回答し、計83%が必要を感じていることが分かりました。一方で、資産形成の実践状況を伺うと「行なっている」は32%とおおよそ3割にとどまる結果に。

資産形成を行なう際の目的を尋ねると、74%が「老後資金のため」と回答。年代別で見ると、20代は51%、30代は71%、40代は79%、50代以上は83%と、年代が上がるほど回答の割合が高まりました。

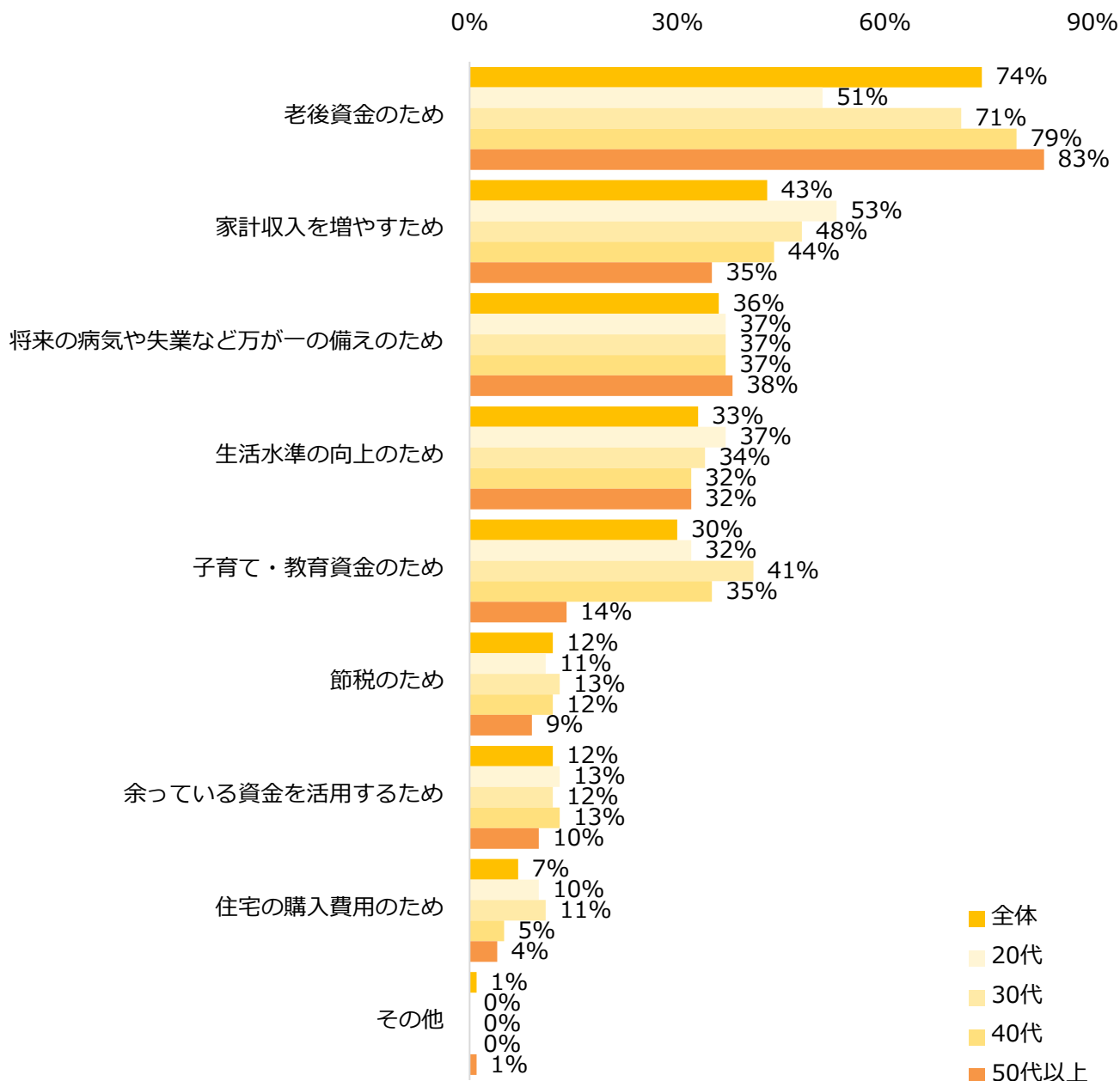
【図1】貯金以外での資産形成の必要性を感じていますか？



【図2】 現在、資産形成を行なっていますか？



【図3】 資産形成を行なう際の目的を教えてください。（年代別／複数回答可）



2：資産形成に踏み出せない理由は、資金不足に次いで知識不足が課題に。

NISA・iDeCoの認知度は8割を超えるが、約半数が「内容はわからない」と回答。（図4～5）

現在、資産形成を行っていないと回答した方にその理由を伺うと、上位は「資金の余裕がない」（33%）、「何から始めたら良いかわからない」（20%）、「制度や仕組みが難しくてわからない」（16%）でした。

NISA（※1）、iDeCo（※2）について、それぞれの知識レベルを伺いました。「名前を聞いたことがない」と回答した方は、NISAが3%、iDeCoが13%と多くの方が存在を認知していますが、「名前は知っているが、内容は知らない」と回答した方が、NISAは47%、iDeCoは50%となり、存在は知っていても詳細は理解していない方が約半数であることが分かりました。

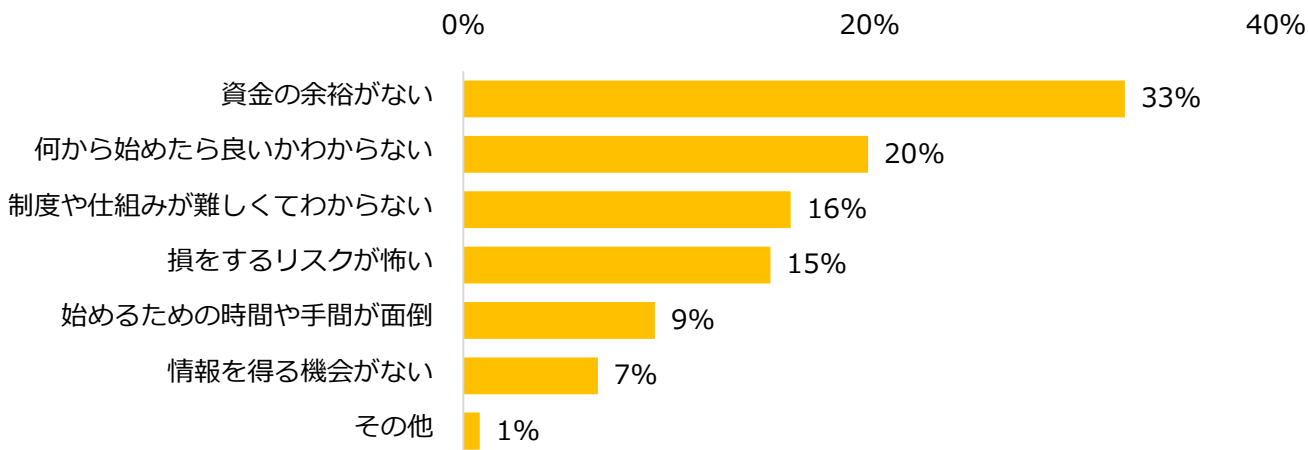
※1 NISA（少額投資非課税制度）

投資で得た利益に税金がかからない制度です。少額から始められ、税金がかからないため、資産を効率良く増やせます。

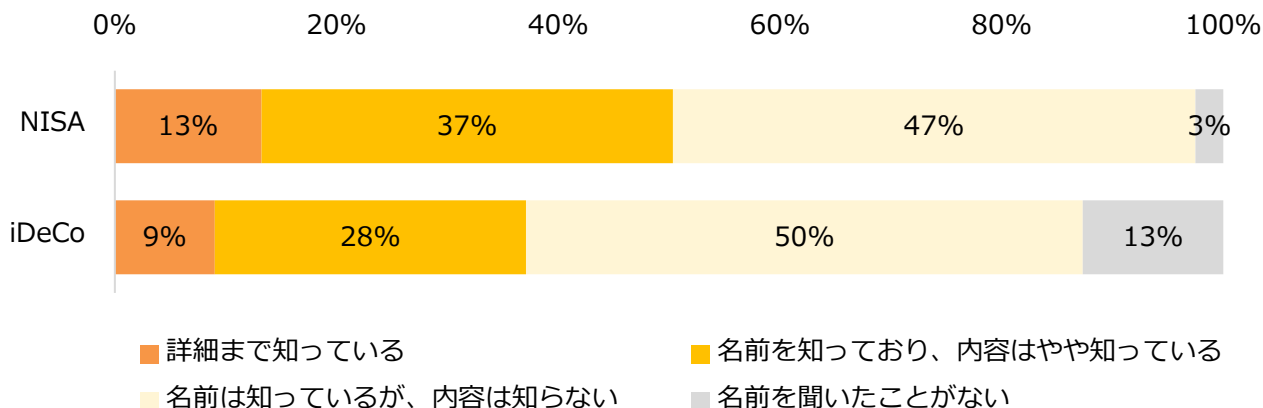
※2 iDeCo（個人型確定拠出年金）

自分で積み立てる老後のための年金です。毎月積み立てるお金が税金の計算から引かれるため、今払う税金を安くしながら、将来のお金を備えられます。

【図4】 現在、資産形成を行っていないと回答した方に伺います。
行かない理由は何ですか？（複数回答可）



【図5】 NISA、iDeCoについて、ご自身の知識レベルに近いものを選択してください。

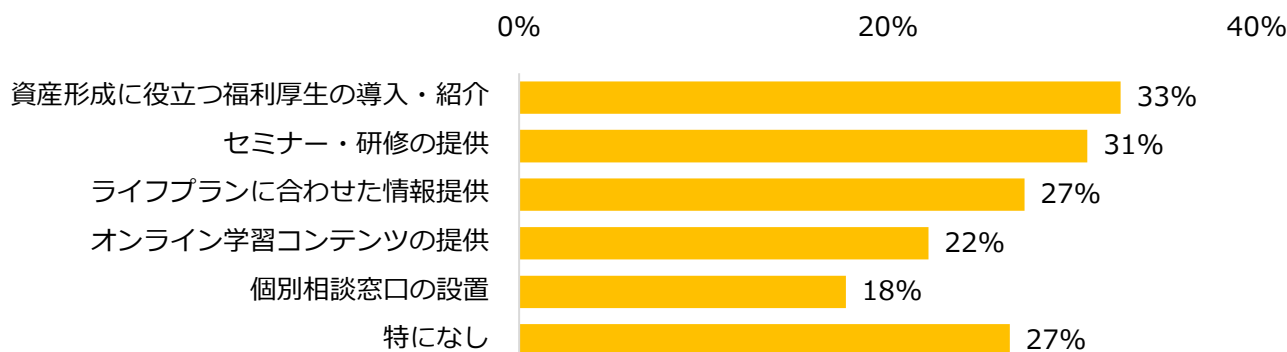


3：資産形成に関して、職場や派遣会社に期待するサポートは 「資産形成に役立つ福利厚生の導入・紹介」「セミナーや研修の提供」。(図6)

資産形成に関して、職場や派遣会社に期待するサポートを伺いました。上位は「資産形成に役立つ福利厚生の導入・紹介」(33%)、「セミナー・研修の提供」(31%)でした。理由もあわせて紹介します。

最後に、資産形成を行なう上で「派遣で働くこと」に対するメリット・デメリットを伺いました。メリットでは「時間の融通が利く」という点が多くあげられ、デメリットでは「収入が安定しない」という点が多くあげられました。

【図6】資産形成に関して、職場や派遣会社に期待するサポートは何ですか？(複数回答可)



Q. 期待するサポートについて、回答の理由を教えてください。

■「資産形成に役立つ福利厚生の導入・紹介」と回答した方

- ・組織に属することで、福利厚生として、資産形成について学ぶ機会があったり、積み立てられるような仕組みがある企業は魅力を感じる。夫の就業先では、毎月給料から天引きで資産形成できる仕組みがあるようなので、理想的だと感じる。(30代女性)
- ・iDeCoや企業型DCなどが会社で加入できると老後に安心できる。(40代女性)
- ・自分で勉強しようとしてもなかなか腰が重いので、福利厚生に組み込まれてたら便利。(40代女性)

■セミナー・研修の提供

- ・セミナーが会社主導だと、双方の理解に繋がって良いと思った。
また、学習コンテンツがあると自分のペースで学びたいことを学べるのも良いと思った。(30代女性)
- ・ネット上でも資産形成について情報が溢れているが、体系的に学ぶ機会があると、自身のライフスタイルに合わせて資産形成に取り組むことができるのではないかなと思う。
個別相談するにしても、ある程度の知識と情報がなければ判断しづらいと考えるため。(40代男性)
- ・知識がなく何から始めればいいのか、どこで情報を得ればよいのかが分からないため、会社で情報提供してもらえればありがたい。(40代女性)

Q.資産形成を行なう上で「派遣で働くこと」に対するメリット・デメリットを教えてください。**■メリット**

- ・残業が少なめなので、市場調査やデータ分析に時間を使える。（20代女性）
- ・勤務時間が自由でライフスタイルを自由に確保しながらも、給与を得られる点。資産運用に回せる時間とお金も確保できる。（20代男性）
- ・派遣は勤務時間が比較的柔軟なので、資産運用の勉強時間を確保しやすい点はメリット。（30代女性）
- ・税制優遇制度を自分で活用できることや、iDeCoに加入すれば掛け金が全額所得控除の対象となるため、所得税や住民税の負担を軽減できること。デメリットは派遣社員は正社員に比べて退職金制度がないことだが、制度を組み合わせることで自分で老後資金などを計画的に準備できる。（30代男性）
- ・勤務時間を調整して、株式投資なら市場が開いている時間を確保できる点。（30代女性）

■デメリット

- ・時給換算なので、祝日が多いと収入減になる。正社員と比べて毎月定額積立などを行なうと、金銭的な余裕がなくなる。（30代女性）
- ・ボーナスがないので投資に回しづらい。また、同じ派遣先への就業は3年で終了するため、今後の収入の見通しが立てづらく、投資する余裕がない。（40代男性）
- ・ボーナスがないので投資する資金が確保できない。（40代男性）
- ・固定給ではないため資産運用に充てる金額を決めづらい。（40代女性）

【調査概要】

- 調査方法：インターネットによるアンケート
- 調査対象：『エン派遣（<http://haken.en-japan.com/>）』を利用しているユーザー
- 有効回答数：1,496名
- 調査期間：2025年12月1日～2026年1月4日

日本最大級。派遣の仕事に特化した求人情報サイト『エン派遣』

<https://haken.en-japan.com/>

派遣で仕事を探す求職者と全国の人材派遣会社を結ぶ、日本最大級の派遣情報集合サイト。派遣で働きたい人のさまざまなニーズと、派遣会社の持つ仕事情報のマッチングを重視したサイト設計が特長です。どんな仕事情報も埋もれさせることなく、それを希望する派遣ユーザーにお届けします。

**本ニュースリリースに関する
お問い合わせ先**

エン株式会社 広報担当

<https://corp.en-japan.com/>

〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー

TEL : 03-3342-6590 MAIL : en-press@en-japan.com